

議 会 広 報 特 別 委 員 会

日 時	令和 7年10月 2日 (木) 閉会中	10時30分 開会 11時14分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 第3会議室	
出席議員	(委員長) 8番 種茂和男	(副委員長) 3番 絹村智昭
	7番 松下定弘	6番 木村正利
	2番 谷口恵世	1番 石山和生
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 増田 奈菜子	書記 中田 綾
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今からですが、本日最後の広報特別委員会の会議になりまして、かけはしの第80号については、委員会としては最終の確認になります。

2 事件 (1) 牧之原市議会だより「かけはし」第80号について

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

一般質問を除き、事務局が全て編集してありますので、そのつもりで校正のほうをお願いします。

事務局のほうでお願いします。

○事務局書記（増田奈菜子君）

それでは、かけはしの第80号の校正について、簡単に説明させていただきます。

まず1ページ目ですが、御前崎中学校の職業講話の一場面の写真を表紙にさせていただいております。

続いて開きまして、2ページ目から3ページ目です。こちらは9月の定例会の内容についてまとめたものになります。今、反対討論の部分が空欄になっておりますが、先ほど最終日の定例会の内容を踏まえた上で、こちらも後ほど記入をさせていただきます。

また、3ページの左下、空いているスペースがございますが、こちらについては、トランスですね、変圧器の画像を入れたいと思っております。

続いて開きまして、4ページ目と5ページ目です。4ページ目、5ページ目が、決算の資料と、それから議決一覧を載せさせていただいております。

4ページ目の左下、小さいですがスペースが空いておりますので、こちらについては、空き家に関するフリーイラストを入れさせていただきたいと思っております。

続いて、5ページ目です。9月定例会の全会一致したものと賛否が分かれたものとの議決一覧をつくっております。全会一致の下に、「〇〇議員は諸事情により評決に加わっていません」の文章がございますが、昨日の時点では、大石議員が退席するかどうか不明であったため、今回の定例会の結果を踏まえまして、大石議員が評決に加わっていない旨を、この下に書かせていただきます。

続きまして、6ページ目、7ページ目になります。6ページ目が一般質問の記事と、一般質問を取り下げた方の記事等を載せております。大石議員が400字程度で記事を作成してくださったのですが、400字に当てはめた結果、左下、大きくスペースが空いたので、追加で150字程度また文書を増やしたいと申出がございました。追加で150字書いていただいた文章を入れ、それでもスペースが余れば、小さいですが何かフリーイラスト、画像を入れさせていただきたいと思っております。

その下、取り下げた方の一覧表と、一般質問の件名を書かせていただきました。特にこの取り下げた理由と、その下に簡単にご挨拶といいたししょうか、被災した方に向けて、皆様のご健康を心からお祈り申し上げますという文章をつくっておりますので、この文章の

内容でよいかというのも後で確認していただければと思います。

続いて、隣のページが提言書の内容についてまとめたものになります。ちょっとスペースが小さいのですが、それぞれの、文教厚生委員会、総務建設委員会のタイトルの横にQRコードをこの後入れます。提言書の手交は先ほど行ったので、まだホームページ自体も上がっておりませんので、ホームページを上げたら、このQRコードをつくって、掲載するような形にしようと思っております。

事務局のほうで、なるべくコンパクトに提言書の内容をまとめたのですが、本来、見開きで2ページ使いたかったものを1ページに短縮しておりますので、こちらの内容でいいかについても、それぞれ確認を、特に総務建設副委員長である松下委員と、文教厚生委員会の委員長である谷口委員にはお願いしたいと思います。

最後の8ページ目になります。台風15号災害対応に関する要望書を提出したという文章を載せております。こちらについても、前文の部分と、それから要望書に関する要旨を書いておりますので、内容のチェックをお願いしたいです。

最後に一番下です。種茂委員長の編集後記を入れております。ご本人には確認させていただきましたが、改めてこの内容でいいかの確認をお願いします。

以上で簡単に説明を終わります。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

木村委員。

○（木村正利君）

5ページのところなんですけど、〇〇議員は諸事情により表決に加わっていませんというのは、諸事情じゃなくて、この書き方がちょっと僕は納得いかないんですけど。だから、書き方がもうちょっと何か違う書き方でしないと、正直言って、諸事情って、個人の意見を通そうとしているという感じがすごい伝わるんですね。だから、ちょっと書き方を皆さんご意見いただければなど。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

こちらの部分なんですけど、昨日の時点では諸事情によりと書いておりましたが、現在は変えまして、大石議員は認定第1号から第4号の評決に加わっていません、のみ書いております。なので、理由を全て削除して、加わっていないことのみ書いている状態です。

改めて、この文章でよいか、諸事情という文章は抜かしているんですけど、こちらでいかにどうかを確認いただきたいんですけど、いかがでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今、事務局のほうから提案がありましたけど、事務局のような、加わっていないというような理由でよろしいですかね。どう思いますか。

○（木村正利君）

私は、基本的に議会を通じて学校再編のことの個人の意思を出しているということの中で、議会としては学校再編のところの関係は進めていると思うんですね。そうした中で、反対討論、賛成討論を先ほどやられたと思うんですけど、そのときに、あくまでも学校再編に反対だからという言い方で、表決に加わるということを表示しているわけですよ。

そうすると、議会に対しての個人の意思をそれでいいのかなとちょっと感じるので、そこから辺も皆さんのご意見をいただきたいなど。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

谷口委員。

○ **（谷口恵世君）**

大石議員が加わっていないのは、学校再編のところじゃなくて。

○ **（石山和生君）**

決算連合の部分。

○ **（谷口恵世君）**

なので、いいんじゃないですか。今の事務局のほうのあれでいいと思います。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

石山委員。

○ **（石山和生君）**

事務局のでもいいと思いつつ、第1号から第4号まで退室し。

○ **（松下定弘君）**

放棄したという言い方はまずいですか。

○ **（石山和生君）**

放棄は。

○ **（谷口恵世君）**

放棄はちょっとまずい。

○ **（石山和生君）**

退室し。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

放棄はちょっときつ過ぎる。

○ **（石山和生君）**

退室し、採決に加わっていません。は事実ですよ。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

そのぐらいがいい。

石山委員。

○ **（石山和生君）**

なので、議員は第1号から第4号まで退室し、採決に加わっていません、が事実。退室し、を入れるか否かというのが今。

○ **（谷口恵世君）**

勝手に出ていった。

○ **（松下定弘君）**

議長が認めていない。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

まだ議長が言う前に出て。

○ **（谷口恵世君）**

退室を認めます、で本当は出ていく。

○（**松下定弘君**）

勝手に出ちゃったから、だから放棄しているかなと。

○（**谷口恵世君**）

しょうがない、それは議長がさ。

○（**絹村智昭君**）

以前、そういう事例とかあったか。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

事務局。

○**事務局書記（増田奈菜子君）**

過去の事例を調べましたら、当日、病欠なので欠席した方はいらっしゃいましたが、退室された、途中からまた評決に加わったという例は、申し訳ないですが、なかったです。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

普通、入れないんでしたっけ。入れるの。

議長が許可する前に出ていっちゃったから、異常だよな。

どういうふうを書くかな。今回、事務局のほうでまとめて、どういうふう。難しいと思うので。

○（**石山和生君**）

退室した。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

事務局。

○**事務局書記（増田奈菜子君）**

では、石山委員の意見をいただきまして、大石議員は退室し、認定第1号から第4号の評決に加わっていませんという文章に変えるということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

石山委員もそれでよろしいですか。

では、それをお願いします。

○**事務局書記（増田奈菜子君）**

分かりました。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

それと、地頭方何だかというのはどこへ載っている。地頭方工区だか何だかというのは。

○（**石山和生君**）

それは一般質問のところにあります。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

何ページ。

○（**石山和生君**）

大石議員の下のところに。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

大石議員のところ載っている。

○（**谷口恵世君**）

6 ページ。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

事務局。

○**事務局書記（増田奈菜子君）**

こちらについても説明させていただきます。先日の委員会で説明させていただきました、前回の第79号の誤りについて、訂正しおわび申し上げますという文章を、6 ページ、大石和央議員の一般質問の下の段に、小さいですが入れさせていただいております。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

分かりました。これは本人には連絡はしなくていいわけだね。

○**事務局書記（増田奈菜子君）**

本人というと、名波議員か大石和央議員のどちらになりますか。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

この言ってきた人。

○**事務局書記（増田奈菜子君）**

指摘をしていただいた市民の方に対しては、既にメールで返答しております。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

分かりました。いいです。

どうですか、ほかは。

松下委員。

○**（松下定弘君）**

先ほどの大石議員の一般質問の空欄のところ、スペースがあるならもっと言葉を入れたいよというのがあったんですけど、それは認めるんですか。一般質問のスペースがちょっと空いているから、もう少し字数を増やして。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

150字もらって写真を入れるという、400字だけ。

○**（松下定弘君）**

写真でオーケーなんだ。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

本人には言っているわけだね。

○**（松下定弘君）**

本人が言ってきたんですよ。

○**事務局書記（増田奈菜子君）**

昨日の時点で、この程度のスペースがあることが発覚したため、この原稿の一部、大石議員の記事の部分を本人にメールでお渡しして、この空きスペースに写真と絵解きを入れたいんですがいかがでしょうかと打診した結果、写真を入れるくらいだったら文章を入れさせていただきたいという話がありまして。

○**（松下定弘君）**

それはまずいな。

例えば、もし認めて書いたとしても、そこの決めるといっか、いいのかなというのってあれになっちゃうんだよね、判断。それだったら、このままで決まっていますということ

で、できないですかね。写真を入れてという。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

どう思いますか。

○ **（木村正利君）**

私も、規定の中で皆さんやっていることで、余ったから文章を入れますよというのは、ちょっと違うかなと感じますね。

○ **（谷口恵世君）**

写真を入れてもらうしかない。

○ **（木村正利君）**

そういう形で決まりましたということでやったほうが。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

写真だけ入れますか。

○ **（谷口恵世君）**

写真かイラストかね。自分でいつも提出する。

○ **（松下定弘君）**

変な文になってしまったら困るし。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

石山委員。

○ **（石山和生君）**

今、文字数は何文字と指定して、今何文字なんですか。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

400文字。

○ **事務局書記（増田奈菜子君）**

400と指定をしております。すみません、合計の文字数をカウントしなかったんですが、およそ400字程度となっているはずです。

○ **（谷口恵世君）**

それで出しているから。

○ **（石山和生君）**

規定の半分の量だから。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

全協でも結局400字というので言っているのです。

○ **（石山和生君）**

それが一番いいと思います。全協でも言っているのです。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

あと、イラストを入れれば。委員会でそういうふうに決まりましたと言えればいい。

○ **（谷口恵世君）**

もともと決まってやっているから、それに従ってもらうということでいいんじゃないですか。

○ **議会広報特別委員長（種茂和男君）**

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

分かりました。では、大石議員には後ほど電話をさせていただいて、改めてこちらのスペースには写真を入れさせていただきたいという話をさせていただきます。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

以上ですかね。

○事務局書記（増田奈菜子君）

そもそも、一般質問取下げの記事については、皆さんこちらでよろしいでしょうか。

○（谷口恵世君）

苦渋の決断でとか、私は入れてもらいたいと思う。

○（松下定弘君）

これとこれを上へやりたいぐらい。

○（谷口恵世君）

私もそう思う。

○（松下定弘君）

これとこれを上へやって、大石議員のを下にやりたいぐらい。

○（石山和生君）

それはいいんじゃないですか、そうしちゃえば。

○（松下定弘君）

だって、こっちの下の衆は自分のレイアウトをね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

逆に。

○（松下定弘君）

逆に、なので、取り下げたというのは。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

上へ上げて、その訂正文を一番下のほうが格好がつかない。真ん中へ入っているより。

○（谷口恵世君）

真ん中に訂正が入っているのもね。

○（木村正利君）

訂正を少し。

○（絹村智昭君）

気持ちはすごく分かるんだけど、一応やっぱり一般質問のページなので、一般質問をまずは載せないと思います。

○（松下定弘君）

いえいえ違います。それはちょっと感覚が違うのかもしれないけど、一般質問だからこそ、何で下げたのかというところが必要だと思うんですよ。

○（木村正利君）

私も、この経緯というのは、ここの皆さんが市当局の最優先でという中で、本来やるべきことを苦渋の決断で取り下げたということの中でもやった人というのは、やっぱり重きは上かなと。だから、それを上げて、下にレイアウト的には大石議員、それでもやったんだよということは、皆さんそういうことかなと私も思うんです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

これに関しては、本当に元議員の平口さんだったかな、フェイスブックへ流した。結局、取り下げじゃなくて、職員が大変に思うようなことじゃなくて、それが一般質問でいいところで、一般質問すればいいぐらいに、彼の持論だとな。いつものことで。

ということで。なので、みんなの一般質問を取り下げたのはやっぱり上のほうがいいな。訂正とおわびが一番下にきたほうが、真ん中に入るよりも落ち着くかな。どう、事務局はどう思いますか。委員会では逆のほうがいいんじゃないかと。苦渋の決断で。

○（谷口恵世君）

苦渋の決断の下、通告を取り下げる申出がありましたと入れてもらいたい、私は。一般質問って、重要性があるから。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

議員としては一番重要なあれだよという、それを簡単に。

○（谷口恵世君）

それを取り下げるということは、簡単ではないということとは。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

取り下げるということは。

○（谷口恵世君）

それは多分、みんなこの議員はみんな思っている。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

一般質問を苦渋の決断で取り下げました。

○（松下定弘君）

見出し。

○（谷口恵世君）

見出しじゃない、文章の中で。

○事務局書記（増田奈菜子君）

あくまでも、もちろん議員の皆様の意見を基につくるのがこの議会だよりという趣旨なので、一職員である私には判断できかねるところもあるんですけども、ここの文章にしても、順番にもまず理由があって、一つ目は、絹村委員に先ほどおっしゃっていただきましたが、あくまでも一般質問のページに、まず最初に取下げがきて、その後、一般質問の記事が来るというのも、順序的にあまりよくないのかなと。

あくまでも一般質問の記事ということ的前提とするなら、大石議員の記事の下に取下げという順番でもいいのかなという判断で、私はこの順番にしております。

その下の、苦渋の決断というところは、谷口委員のフェイスブックなども参考にさせていただいてはいるんですけども、それ以前に、市のホームページであったりに載せている、取り下げたという文章が、こちらの文章なんですね。市に当局に最優先で災害対応に取り組んでもらいたいという判断の下、取り下げたという内容で、苦渋という部分を使うか、使わないかについては、議員の感情が入ってしまうので、公に広報するときあまりよくないのかなという判断で削除しているという形になります。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ただ、この訂正とおわびだけは、一番下にほしいよ。一般質問を取り下げた衆のほうが

低く見られちゃっているようで。一番下でいいと思うんだけど。

石山委員。

○（石山和生君）

議会、議員の感情は議会の広報誌なら出していいんじゃないかなとは思いますが。

ただ、今言ったように、議員なので、この5人がちゃんと苦渋の決断だと思っているんだったら、別に出しても問題にはならないとは思いますが。僕個人はね。なので、今のご指摘を受けるんだったら、ちゃんと一応5人に苦渋の決断だったかどうかは聞いた上で出さないと、確かにここにいないのだと、濱崎議員、加藤議員、名波議員に聞いてやれば、僕は問題ない。むしろ、議会の広報誌なので、議会の感情が表れても問題はないと思います。これは委員会がどう判断するかにはなりますけど。

○（松下定弘君）

戻すようで申し訳ないんですけど、今回のこれって異例のことじゃないですか。かけはしとか、こういったものって、中学生にも分かるようなつくりであってほしいんですけど。なので、まずは取り下げたのは何でというところがほしいなというのは、自分もあります。この人だけやっているんだなという、中学生にも分かるような、決まりごとの中で動くのではなくて、分かりやすくもってあげたほうが、今回はこういう特例でやったんだよというところの意味を知ってほしいなというのはありますね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

なかなか。

○（谷口恵世君）

順番的にもともとあれだし。大石議員が一番下だし。最後だったから。

○（木村正利君）

関連ですが、やはり一番最後のほうへ行って、事務局のほうでかけはしの編集をありがとうございます。

感情といたらあれですけど、私は本当に直面した経験の中で、細江区というのが、本当にすごい悲惨な状況になっているんですね。やっぱりここに災害に遭われたというのは、ほぼ多分これから、細江区の人口は間違いなく減ってってしまう状況ぐらい、ひどい状況なんです。だから、そういう意味でも、ここのかけはしの中に、災害でまずお見舞いというのは、細江区のこっちの旧榛原町においても、人口が6,000人くらいいるわけですよ。そのほとんどが、さっき言ったいろいろな苦渋というのは、失礼ですけれども、前回の4年前も、私は竜巻のときに全然他人事だったんですけど、今回の細江で経験して、いやあと思って、本当これから心が病んでいく方、すごく、状況なんですね。

ですから、せっかくいろんな中で議会としても取り下げていただいたりしているというのは、本当ありがたかったなと思っていることの中で、どこかの文に、やっぱりお見舞い申し上げます、議会として、そこら辺の言葉ももし入るスペースがあれば、そういった経緯の中で今こういうふうに進んでいるということも、できればお願い、間に合えばお願いしたいなというふうに感じます。

○（石山和生君）

一番最後のページに入っています。

○（木村正利君）

要望書を出しましたって、お見舞い申し上げますというような言葉を、議会としても災害対応のところを今進めているじゃないですか。議会としてもやっぱり、地域の方に対するお見舞いの言葉をどこかね。

○（石山和生君）

一番後ろのページに入っていますよ。

○（谷口恵世君）

種茂委員長の。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

編集後記には入れてあるけど。

○（石山和生君）

あと、一番上にも。令和7年。

○（木村正利君）

だから、ここら辺がもうちょっとインパクトあるようにね。強調していただけたら、うれしいかな。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

議会としては、一番最後に載っている。

○（木村正利君）

と、ちょっと感じました。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

取りあえず、6ページの処理、それをどう。もとへ戻ってしまうけど、事務局が言うようなあれでいいのか、変えて、苦渋の云々というのを入れるのか、そこら辺どういうふうにしますか。一番重要な、皆さんの取り下げた人たちの思いもあるし。

○（石山和生君）

私は、上にしたらいいんじゃないかなと思います。問題ないんじゃないかなと。これは相当特例なので。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

要するに、上にやって、大石議員のを下へやると。

○（石山和生君）

そんなに、それを見た時におかしいってなるかな。ならないんじゃないかな。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

同じ、取り下げたほうも関連には関連なんだけどね。一般質問に対しての。記事と、絹村副委員長の思いも、記事が上か。

○（石山和生君）

上にしてもいいんじゃないかなと思います。苦渋に関しても、入れても問題ないんじゃないかなと。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

とにかく一般質問でやめた人たちも本当はやりたかったのですね。今、石山委員が言うように、出した人というより、やめた人のほうが本当に苦渋の思いでやめられたと思うんですよ。やりたかったけど、こういうことがあったので。なので、石山委員が言うように、私も思うけど、上へ上げてもらって、大石議員のをやって、訂正とおわびが一番下へ来た

ほうが落ち着くのかなと。ですけどね。

○（石山和生君）

委員の皆さんの意見を。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

副委員長。

○（絹村智昭君）

自分は逆で、この状態で。基本というか、気持ちは分かりますけど。

○（谷口恵世君）

多数決で決めればいいんじゃないですか。

○（絹村智昭君）

多数決なら、間違いなくそっちになりますけど、委員長判断でも構わないし、こういう基本的なことはしっかり、広報的なことなので、このままあれにもなってしまうので。一応言いたいことは言っておきます。

以上です。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

いいですか、委員長判断ということで、今回は申し訳ないけど。

記録には残しておいてください。副委員長が言うような思いもあるので、委員長としては、災害重視でやめた人の気持ちがあるので上へしたというような形で。

○（木村正利君）

そうした中で、一般質問を取り下げましたということの前の、台風15号の災害対応を最優先にというフォントがそろっていないんですけど、できれば今そこら辺の感情というか、中で、このフォントをもうちょっと大きくしたらどうかなと感じるんですが。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

時間があればもう少しきらびやかな感じにしたかったんですけど、緑だけじゃなくて、白枠をつけるなどして、市制を問う一般質問と上にあると思うんですけど、この市制を問うがちょっと小さくて、一般質問が大きい形になっていると思います。そういう雰囲気タイトルにしようとした計画であったんですけども、同時に、今おっしゃっていただいた、この記事を上に上げることによって、今のタイトルのままだと、一般質問を取り下げたと書いてある下に一般質問の記事があるのもちょっとおかしいので、ここもタイトルを変えて、5名の議員が一般質問を取り下げました、にタイトルを変えた上で、上に上げようと思います。

おっしゃっていただいた台風15号災害対応を最優先にということについて、同じフォントで入れたときに、ちょっと大きさが入らないかもしれないので、災害対応を最優先に、にするかして調整を行いたいと思いますが、どうでしょうか、大きさは統一したほうがいいのか、色で分けたいとか、何かご希望などあればお聞きしたいんですが。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どう思いますか。

○（谷口恵世君）

任せればよいと思います。

○事務局書記（増田奈菜子君）

分かりました。じゃあ、そこは私の判断できれいに整えていきたいと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

逆に、この表を圧縮しても、どう。5人のものと。それで上の文字を大きくしたほうがいいのか、逆に。表のスペースをもう少し詰めて、同じ字数でも。これ入らないのかな。いっぱいいっぱいになっちゃうの。

○（石山和生君）

バランス的にはこれでいいと思う。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

バランスは同じ均等割になっているので。

○（谷口恵世君）

いいんじゃない、それは。大変だから。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

いいね。

じゃあいいですか、そんな具合で。

じゃあ以上ですか。

石山委員。

○（石山和生君）

6ページの最後の答えのところに、丸がほかは入っているけど、入っていない。

○（谷口恵世君）

変わってくる。大石議員の。

○（石山和生君）

変わってくるなど。丸が抜けているので。

○事務局書記（増田奈菜子君）

分かりました。ありがとうございます。

○（石山和生君）

そういう細かいところのチェックが今されていない気がしてちょっと不安なんですけど、大丈夫ですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

丸がないということ。

○（石山和生君）

前回とかは1ページから2ページ見て、言っていたところの。最後の最後で。

一応2、3ページ見ているけど、ざっとは大丈夫そうではありますけど。

○（木村正利君）

2ページなんですけど、指定管理者の指定についてということで、牧之原市相良子生れ温泉会館ということの下りなんですけど、例えばもうちょっとこのフォントを小さくすることによって、同じ2行でも、牧之原市相良子生れ温泉というのは、何かつながりが見栄え的にどうかと私は思うんですが、よろしかったでしょうか。

○事務局書記（増田奈菜子君）

タイトルの部分ですか。

○（木村正利君）

そうです。タイトルの下りが、括弧から流れている下りが、今下が空いているので、フォントをちょっと小さくして、指定管理者の指定についてという、次の括弧から、牧之原市相良子生れ温泉会館というのは、2行目に入れたほうが。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

「牧之」までを。

○（木村正利君）

収まれば。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

一番いいですね。

○（木村正利君）

そうですね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ついて、で終われば、括弧いらなくてもいいので、こっちに「牧之」を移せば括弧がなくてもね。それなら括弧しなくてもいいといえば、いい。隣に「牧之」を移すなら。

○事務局書記（増田奈菜子君）

今のご意見について、過去の議会だよりを見て、小さく文字をしているという例があまりないので、一旦確認の後、判断して対応したいと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それか、「牧之」を移しても、小さくしなくても、上下の括弧を取れば入るんじゃないかな。2行。

○（谷口恵世君）

あれでしょう、議案としてだから、そういう表記が。もともと議案としての表記が括弧がついているから。なので、いいんじゃないですか、任せれば。毎回やると大変だから。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

じゃあ、このままでいきますか。このままでよろしいですか。

○（絹村智昭君）

ちょっと細かいところだけど、そこの2ページなんですけど、キャンペーンに参加されていない方への支援策の後なんですけど、スマホに疎い高齢者が、実際答弁されているんだと思うけど、疎いという漢字が、ルビを振るか、それとも不慣れなとか、そういうふうに変えたほうがいいのかと思ったんですけど、いかがでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

答えとしては、疎いということを行っているわけ。なので、今言うように、スペースができるなら疎いにルビをつけられるか。

○（絹村智昭君）

ちょっと中学生では読みづらいんじゃないかなと。自分もちょっと調べさせて。

○事務局書記（増田奈菜子君）

すみませんでした。そうしたら、疎いという言葉自体がそもそも難しいかなというふうにも感じますので、不慣れという言い方に変えたいと思います。

○（谷口恵世君）

優しいよね、そのほうが。疎い高齢者だと、ちょっと何かばかにしている感じがするから。

○（絹村智昭君）

そういうイメージもあるしね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

じゃあ、そういうようなあれで変更ということ。

○（谷口恵世君）

反対の討論に関しては、事務局が。

○事務局書記（増田奈菜子君）

そうですね、今から作成します。

○（谷口恵世君）

本人じゃなくてね。

○（石山和生君）

多分大丈夫だとは思いますが、3ページの上の反対のところだけロゴがないです。多分大丈夫だとは思いますが。多分入れてくれるとは思いますが。一応。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

反対という文字がね。

○（谷口恵世君）

決算に関してはあれですか、今回通告制というのは表記しない。結構重大な変更点かと思って。

○（石山和生君）

それも台風15号の対応のためと。

○（谷口恵世君）

大石議員って、それで今回退室したんですよ、理由は。理由はそれ。通告制にしたから、それで自分が評決には参加しないという。

○（石山和生君）

この4ページの左下って、写真か何か入れると言ったんですけど。

○事務局書記（増田奈菜子君）

そうですね。このスペースにその文章を入れることが、そもそも難しいので、入れたら、5ページ目の議決一覧の欄を少し下げて、小さくですが、入れるかどうかを検討したいと思うんですが、いかがでしょうか。それとも、タイトルをもう少し小さくして、タイトルの下に入れるかかなと思っているんですけども。

○（木村正利君）

そこのところも分かっていただくという中では、先ほど言った、〇〇議員は諸事情により評決に加わっておりませんという欄の上辺りに、今回特別にということ、2段の中に通告制にしましたというところはどうか、その間。そこぐらいしか入らないんじゃないかな。入れたら。

それか、もう一回段を変えて一番下にする。

○事務局書記（増田奈菜子君）

今の件を受けまして、先ほどおっしゃっていた、〇〇議員は退室し評決に加わっていませんの辺りが空いているので、ここを空けないように、もう少し下げないようにします。下げて、議決結果と概要と書いてあるオレンジの部分と、決算連合審査会の文章が書いてあるところにもう少しスペースをつくって、この下に入れようと思いますが、いかがですか。

○（木村正利君）

いいと思います。

○事務局書記（増田奈菜子君）

ここに、今回の決算連合審査会に関しては、災害対応に伴い。

○（谷口恵世君）

市当局に最優先で災害対応のため、通告制というあれを取りました。

○（木村正利君）

そうだね、そうしていただければ整合性が取れる。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そんな具合でよろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

では、大体全て終了。本当2年間お世話になりました。

○事務局書記（増田奈菜子君）

提言書と、それから一番後ろの要望書のページの内容についてもよろしいですか、こちらで。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

提言書の文章、委員長、副委員長の谷口委員と松下委員、いかがでしょうか。

○（松下定弘君）

自分も今、確認したけど、大丈夫です。

○（谷口恵世君）

内容はいいと思います。

○（松下定弘君）

ちょっとスペースが、文教さんのほうが少なくなってしまって申し訳ないなと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

委員長と副委員長がいるので。

総務のほうはいい。文教もいい。

じゃあ、いいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

以上で、第80号のあれは、あと副委員長と一緒に8日に見て、最終して、終了しますので、どうもありがとうございました。

○（谷口恵世君）

その他があります。引き継ぎ事項について。

○ 議会広報特別委員長（種茂和男君）

その他、事務局のほうで。

○ 事務局書記（増田奈菜子君）

その他の引き継ぎ事項についてです。議会広報特別委員会、令和7年改選後引き継ぎ事項についてという資料をお開きください。

以前、9月30日の全協で皆様に配付した資料となります。同じものですね。議会だよりの作成方針と、具体的に引き継ぎ事項を入れると同時に、検討事項を改めまして、かつ、裏面に表紙を全面写真にすることについて、経緯を入れさせていただきました。特に事前に皆様に配付した時点では意見等ありませんでしたが、改めてこちらを次の委員会の方にお渡しするという事によろしいですか。

○（石山和生君）

これ1枚目の話。こっちもですか。

○ 事務局書記（増田奈菜子君）

こっちもですね。

○（石山和生君）

意見が、LINE WORKSでも出そうかと思ったんですけど、確認できていなかった。この左下の、表紙を全面写真にする件について、図1のR5. 5月までと書いてあるのって、下半分が全面写真みたいになっていきますけど、基本的には、どっちかといったら、図2の横に伸びるだけで、下は白い空間があったんじゃないかなと思うんですけど。

○ 事務局書記（増田奈菜子君）

物によりますね。第66号だったら下になっているので。

○（石山和生君）

物によるので、どっかというそういう白い部分があるのがほとんどじゃないかな。今そこにあるのが、ほとんど白があるんじゃないかな。なので、下のところ、ちょっと白を入れておいてもらえばいいだけだと思うんですけど。それだけ入れておいてもらったほうがいいかなと思いました。

○ 議会広報特別委員長（種茂和男君）

それは次の委員会で、白を入れるときと、全面とにかく出したいというときと工夫して、抜き文字にする。

○（石山和生君）

これだとそもそも、ほぼ全面にしたというだけになってしまうので。

○ 議会広報特別委員長（種茂和男君）

じゃあ、そんな具合で引き継ぎのほう、皆さん当選されると思いますので、覚えておいてください。

じゃあ、よろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○ 議会広報特別委員長（種茂和男君）

では、以上で会議のほうは終了したいと思います。ありがとうございました。

〔午前 11時14分 閉会〕